



# ふるさと デー

稲美町の未来を考える



稲美町立 **稲美中** 学校

令和5年 **10** 月 **28** 日(土) 8:50~12:30

# もくじ



## 第3回 稲美中学校 「ふるさとデー」

- ★あいさつ・委員・コミュニティ・スクールについて . . . . . 1
- ★ふるさとデー 日程・各学年の内容 . . . . . 2, 3
- ★全校合唱『群青』歌詞 . . . . . 4
- ★コミック講演会 又吉健二さん『えがおでボランティア』 . . . . . 5
- ★校内活動配置図 . . . . . 6
- ★ふるさとデー開催までの記録（コミュニティ・スクールの活動） . . . . . 7

# あいさつ

平素はコミュニティ・スクールにご理解とご協力、誠に有難うございます。

稲美中学校はコミュニティ・スクールとして4年目を迎えました。この間、学校と地域をつなぐ活動として「防災」をテーマに取り組んできました。今年で3回目となった『ふるさとデー』は『つながる人・つながる心・つなげる夢・未来』をテーマに、生徒たち主導で体験学習をすすめていけることが嬉しいです。

いつ起るかもしれない災害に対して準備をすることで、私たちが出来ること、みんなが出来ることを学習・体験するとともに自ら適切な行動が出来るように、備えることの大切さと防災意識への向上を目指しています。

今日は皆さんで稲美町の未来について考える機会にしましょう。

**稲美中学校学校運営協議会（コミュニティ・スクール）**  
会長 英 直彦

稲美中学校は、令和2年度より「コミュニティ・スクール」となり、「つながる人 つながる心 つなげる夢・未来」の旗印の下、学校運営協議会が中心となり、「学校と地域が願いを共に、命の大切さを学ぶ地域ぐるみの防災教育」に取り組んできました。

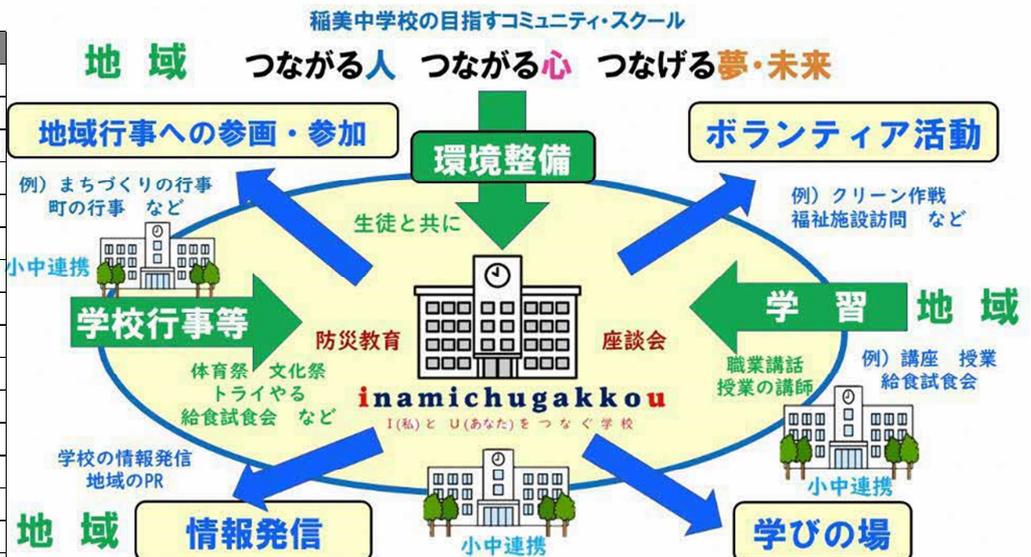
メインの活動である今年度の「ふるさとデー」は3年目を迎え、総勢50名以上の講師の方の協力や、多くの保護者や地域の方に参加をしていただく大きな行事となりました。

生徒たちの心の奥には、稲美町は大切な「ふるさと」であり、自分たちは地域に守られて育った」という気持ちがあります。しかし、小学校を卒業すると、地域の方とふれあう機会は少なくなります。将来の地域の担い手となる生徒たちが、稲美中学校コミュニティ・スクールの取組により、地域の方と繋がり、災害時などには積極的に行動し、共に「ふるさと」を守れるよう学びを進めていきたいと思ひます。ご協力よろしくお願ひします。

**稲美町立稲美中学校学校**  
校長 藤田 真由美

## 学校運営協議会メンバー

番号	役職	氏名	ふりがな
1	会長	英 直彦	はなぶさ なおひこ
2	副会長	吉 岡 泰 毅	よしおか やすき
3	委員	三井津 勝之	みいつ かつゆき
4	委員	竹 元 美恵子	たけもと みえこ
5	委員	菊 本 郁子	きくもと いくこ
6	委員	赤 松 秀 司	あかまつ ひでし
7	委員	大 野 千 春	おおの ちはる
8	委員	大 辻 智加子	おおつじ ちかこ
9	委員	長 石 真梨子	ながいし まりこ
10	委員	砂 川 勝 一	すながわ かついち
11	委員	平 山 伸一郎	ひらやま しんいちろう
12	委員	山 本 寛 英	やまもと ひろひで
13	校長	藤田 真由美	ふじた まゆみ
14	教頭	松尾 恵宏	まつお やすひろ
15	教諭	大 峠 純 樹	おおたわ じゅんき
16	事務局	新 居 高 志	あらい たかし



# ふるさとデー 日程

		1年(4クラス)	2年(3クラス)	3年(4クラス)	
1	①	8:50~ 9:25	開 会・全校合唱『群青』・生徒発表		
	②	9:30~ 10:00	又吉 健二さん 講演会(体育館) 演題『えがおでボランティア』		
	③	10:00~ 10:10	閉会 謝辞 コミスク委員さん紹介 2部の講師紹介と説明		
2	④	10:20~ 11:20	①体験学習(武道場) ②防災講座(卓球場) 2グループ 講師:兵庫県防災士会 東播エリア	防災学習 「Challenge」 避難所設営ゲーム (2年各教室)4クラス 講師:明石高専 防災団D-pro135°	
		休憩			防災体験学習 「自分の命は自分で守る」 (体育館 校舎 プール周辺) 4グループ 講師:コミスク委員 加古川消防署・稲美町消防団
	⑤	11:30~ 12:30			
		12:40	片付け・移動 *全校生:保存パン、保存水、アルファ化米 持ち帰り		
昼休み		講師の皆さん 給食			
5校時	13:30~	授業 50分	授業 50分	授業 50分	

## 《運営》

挨拶: 学校長(藤田真由美)

講師紹介: コミスク会長(英 直彦)

謝 辞: 生徒会長(中吉咲綺)

2部紹介: コミスク副会長(吉岡泰毅) 司 会: 教頭(松尾恵宏)



## 《開会・生徒意見発表》

① 合唱「群青」(全校生)(三木彩寧・森 茉心)

② 稲美中人権宣言について(生徒会執行部)

③ 救命講習から学んだこと(早川侑希・山内志恩・平賀遥奈・北谷佑太・赤松朋音)

④ アクティブレスト(平賀遥奈・平山颯馬・前田悠杜)

⑤ 災害時の食事(坂崎由依・竹中翔馬)



## 《講演》

アドバイザー: 流通科学大学 又吉健二さん

演題『えがおでボランティア』



## 今年度 実施内容

### 《1年生》

講 師：兵庫県防災士会 東播エリア防災士 (6名) 代表：津村 道彦さん  
 場 所：武道場 (60分)・卓球場 (60分)  
 人 数：2グループに分かれて学習 (1・2組：武道場から 3・4組：卓球場から)  
 武道場：搬送法 (毛布担架・徒手搬送) と段ボールトイレ作成  
 卓球場：防災基本講座 (防災クイズ)・クロスロードゲーム  
 準備物：PC・プロジェクター・問題用紙・筆記用具



### 《2年生》

講 師：明石工業高等専門学校 明石高専防災団 D-PRO135°  
 代表 本塚 智貴先生、所属学生 10名  
 場 所：普通教室棟 2年1組から2年4組 (教室前に名前)  
 内 容：避難所設営シュミレーションゲーム「チャレンジ」  
 人 数：各グループ (4人～5人)・小学生、保護者も参加可能  
 準備物：各教室 PC・プロジェクター・「チャレンジ」セット・筆記用具



### 《3年生》

講 師：学校運営協議会委員 10名・加古川消防署 2名・地域消防団 23名  
 場 所：体育館・管理棟・屋外プール・会議室・図書室  
 内 容：段ボールベット・毛布担架・放水訓練・暗やみ (目隠し) 体験  
 スモーク体験 (徒手搬送演習)・防災展示  
 人 数：クラスごとの体験 (着替え必要)  
 準備物：段ボールベット (5セット)・毛布担架 (竹・毛布×4セット)  
 軍手 (各自)・アイマスク 90セット・ポンプ車 2台

場所		体育館		会議室	北館2階～3階	プール
内容		段ボール	担架	消防署 スモーク体験	暗やみ体験	消防団 放水訓練
時間		30分		30分	30分	30分
①	10:20 ～ 10:50	1組	1組	2組	3組	4組
	移動					
②	10:55 ～ 11:25	2組	2組	1組	4組	3組
	休憩・移動					
③	11:30 ～ 12:00	3組	3組	4組	1組	2組
	移動					
④	12:05 ～ 12:35	4組	4組	3組	2組	1組

クラスリーダー

1組代表  
井澤杏奈  
小山祥吾

2組代表  
ブロックバンク琉威  
高田美奈

3組代表  
藤田龍太郎  
丸尾聖佳

4組代表  
植田英登  
細野心陽

# 稲美中全校合唱 『群青』

指揮：敦見 理志さん  
伴奏：河邊 聖さん



ああ あの街で生まれて君と出会い  
たくさんの想いを抱いて 一緒に時を過ごしたね

今旅立つ日 見える景色は違っても  
遠い場所で 君も同じ空  
きっと見上げてるはず



「またね」と手を振るけど  
明日も会えるのかな  
遠ざかる 君の笑顔今でも忘れない

あの日見た夕日 あの日見た花火  
いつでも君がいたね  
当たり前が幸せと知った

自転車をこいで 君と行った海  
鮮やかな記憶が  
目を閉じれば 群青に染まる

あれから二年の日が 僕らの中を過ぎて  
三月の風に吹かれ 君を今でも想う

響けこの歌声  
響け遠くまでも あの空の彼方へも  
大切な全てに届け

涙のあとにも 見上げた夜空に  
希望が光ってるよ

僕らを待つ群青の街で  
あー

きっとまた会おう  
あの街で会おう 僕らの約束は  
消えはしない 群青の絆

また 会おう  
群青の街で



作詞 福島県南相馬市立小高中学校 平成24年度卒業生  
作曲 小田美樹(福島県南相馬市立小高中学校 教諭)

この曲が生まれたのは、福島第一原子力発電所から半径20km圏内に位置する福島県南相馬市。

南相馬の子どもたちが東日本大震災によって離ればなれになってしまった仲間を思って、つぶやいたり、書き留めたりした言葉を、小高(こたか)中学校の小田美樹先生がまとめて、曲をつけた作品です。

震災後、全国に避難していった友だちが原発事故で小高に戻れないなど、たくさんの不安が生徒たちにのしかかり、わずか6、7名の2年生も、心を痛め、音楽の授業では歌が歌えなくなっていました。音楽の小田美樹先生も……。

ある日、小高中学校を離れた生徒がどこにいるのか、大きな日本地図に生徒の顔写真を貼り付けながら、子どもたちが「遠いね」「でも、この地図の上の空はつながってるね」など話しながら、詩づくりが始まりました。子どもたちの思いを綴った日記や作文、他愛もないおしゃべりから、小田先生は子どもたちの想いを書き留めていき、それをつなぎあわせて、「群青」ができあがりました。

全国を旅して 出会いを音楽に変える 合唱作曲家 弓削田健介  
オフィシャルサイト より 抜粋  
<https://yugemusic.com/ultramarine/>

演題

# 「えがおでボランティア」

講師 又吉 健二 さん

## 講師プロフィール



神戸の公立中学校長を務め、定年退職後は流通科学大学で社会貢献活動をテーマにした出前授業などに取り組んでいる。防災団体「みきジュニア防災クラブ」代表としての顔もあり、災害ボランティアなどを通して子どもたちの心を育てている。災害ボランティアの原点は阪神・淡路大震災。現在も東日本大震災や風水害の被災地でボランティア活動に取り組み、防災教育・ボランティア活動を通して、人を育て、地域を繋いでいる。現在は三木市市議会議員として地域活動に尽力している。

◇兵庫県丹波市 田畑で樹木の撤収作業

◇宮城県石巻市 子どもたちへのお楽しみ会

◇宮城県南三陸町 避難所、足湯でお話を聞かせていただく

◇岡山県真備町 家族の大切な写真を洗浄

◇長野県千曲川 災害ゴミ撤収、リンゴ農園お手伝い

◇熊本県南阿蘇 アスパラガス農園での収穫作業

◇地域でできる身近なボランティア



### ふるさと

うさぎ おいし かの やま  
こぶな つりし かの かわ  
ゆめは いまも めぐりて  
わすれがたき ふるさと

いかにいます ちちはは  
つつがなしや とものがき  
あめに かぜにつけても  
おもい いいずる ふるさと

こころざしを はたして  
いつのひにか かえらん  
やまは あおき ふるさと  
みずは きよき ふるさと

### 上を向いて歩こう

上を向いて 歩こう  
涙が こぼれないように  
思いだす 春の日  
一人ぼっちの夜

上を向いて 歩こう  
にじんだ 星をかぞえて  
思いだす 夏の日  
一人ぼっちの夜

幸せは 雲の上に  
幸せは 空の上に

上を向いて 歩こう  
涙が こぼれないように

泣きながら 歩く  
一人ぼっちの夜

(口笛・・・)  
思い出す 秋の日  
一人ぼっちの夜

悲しみは 星のかげに  
悲しみは 月のかげに

上を向いて 歩こう  
涙が こぼれないように  
泣きながら 歩く  
一人ぼっちの夜  
一人ぼっちの夜

# ふるさとデー 実施場所

倉庫	倉庫	木工室	技術準備	金工室
----	----	-----	------	-----

1F 技術教室

倉庫	第3理科	第2理準	第2理科	第1理準	第1理科	第2音楽	音楽準備	第1音楽	階段
倉庫	調理室	家庭準	被服	染色室	絵画室	美術準備	デザイン	階段	特別教室

## 2年 避難所シミュレーション「チャレンジ」

学習指導室	更衣室	トイレ	通級指導	英語教室	1-4	1-3	1-2	1-1	国教準備室	倉庫
個別指導2	個別指導1	トイレ	通路	第3社会	国語教室	2-3	2-2	2-1	通路	英語準備室
厚生委員会	更衣室	トイレ	通路	英語教室	3-4	3-3	3-2	3-1	通路	体育倉庫

給食室

普通教室



## 防災学習 展示室

生徒会室	トイレ	通路	階段	パソコン	準備室	多目的室	聴覚室	階段
ふれあいルーム	トイレ	通路	階段	第1社会	社会準備	第2社会	図書室	階段
用務員室	物置	教育相談	階段	会議室	更衣室	職員室	職員室	階段

3F

2F

1F 本館

1年 段ボールトイレ 搬送法

3年 スモーク体験

3年 暗やみ体験

2年生 更衣室	廊下
体育準備室	生徒相談室

渡り廊下2F

保健室	小会議室	放送室	校長室	玄関
職員トイレ	廊下	職員室	事務室	玄関1F

受付

開会・講演会  
3年生  
毛布担架  
段ボールベッド

剣道場	柔道場	卓球室	自転車	プール
-----	-----	-----	-----	-----

1年 防災講座

3年 放水訓練

3F 3年 放水訓練

2F 1年 防災講座

1F 1年 防災講座

## 第3回 ふるさとデー開催までの記録

### 【令和2年度】

- R2.9.16(水) 第3回学校運営協議会「防災活動についての発案」  
R2.11.13(水)PTA 研修部講演会「あしたを語る」大川小遺族 佐藤敏郎さん

### 【令和3年度】

- R3.7.03(土)天満南小防災ボランティア参加7名  
R3.7.10(土)母里小防災ボランティア参加5名  
R3.7.18(日)~28(水)体育館の壁に「ふるさとアート」参加生徒のべ105名  
R3.7.25(日)コミスク・生徒会座談会「災害死者0人の稲美町にするには」生徒会10名  
R3.7.29(木)教職員研修「防災ボランティアとコミスク」又吉健二さん  
R3.10.26(火)コミスク・教職員 避難所運営ゲーム「チャレンジ!」研修 本塚智貴さん  
R3.11.06(土) コミスク主催「防災デー」オープンスクール  
R3.12.4(土)「いなみ冬景色」イルミネーション作成・点灯式参加 生徒のべ250名  
R3.12.7(火)第6回学校運営協議会「防災デー」振り返り  
R3.12.25(土)コミスク 地域講座「ハンギングバスケット」講師 長石真梨子さん  
R4.1.17 生徒会執行部 「阪神淡路大震災追悼集会」竹灯籠設置  
R4.3.25 学校運営協議会委員交流会

### 【令和4年度】

- R4.4.2(土)まちづくりの会主催 「桜ウォーキング」生徒ボランティア参加 123名  
R4.5.27(金)第1回学校運営協議会開催  
R4.6.11(土)地域学校協働本部イースト∞応援隊「防災避難所体験」生徒参加  
R4.6.23(木)第2回学校運営協議会開催  
R4.7.20(水)稲美中学校区青少年健全育成推進協議会研修会「コミスクの紹介」講師コミスク委員  
R4.7.30(土)コミスク・生徒会座談会「私たちの稲美町、こんな町にしたいねん!」生徒21名  
R4.9.7(水)第3回学校運営協議会開催  
R4.9.13(火)「ふるさとデー」打合せ 講師 加古川消防署 鈴木基之さん 松下 簾さん  
R4.9.27(火)「ふるさとデー」打合せ 県防災士会 津村道彦さん 流通科学大学 又吉健二さん  
R4.10.6(水)第4回学校運営協議会開催  
R4.10.12(火)「ふるさとデー」事前研修会「スモーク体験」 コミスク委員・教職員  
R4.10.24(月)「ふるさとデー」打合せ コミスク委員  
R4.11.05(土) コミスク主催「ふるさとデー」オープンスクール  
R5.12.6(土) いなみ冬景色 生徒ボランティア参加 96名  
R5.12.24(土) コミスク 地域講座「つまみ細工」講師 長石真梨子さん

### 【令和5年度】

- R5.4.1(土)まちづくりの会主催 「桜ウォーキング」生徒ボランティア参加 126名  
R5.5.26(金)第1回学校運営協議会開催  
R5.7.4(火)第2回学校運営協議会開催  
R5. 学校安全(防災)総合支援事業 講師:人と防災未来センター研究部長行司高博さん 打合せ  
R5.8.7(月)職員・コミスク・生徒会防災研修「どうする?稲美中」生徒8名  
R5.9.7(木)第3回学校運営協議会開催  
R5.10.4(木)「ふるさとデー」打合せ 兵庫県防災士会 津村道彦さん・山口 守さん  
R5.10.6(金)第4回学校運営協議会開催  
R5.10.10(火) 学校安全(防災)事業 公開授業(坂元 翼先生・徳梅咲里先生)  
R5.10.13(金)「ふるさとデー」打合せ 加古川消防署稲美分署嶋村さん打合せ  
R5.10.16(月)「ふるさとデー」打合せ 明石高専防災団D-pro135° 本塚先生・吉岡副会長  
R5.10.20(金)「ふるさとデー」打合せ 救急救命講習 加古川消防署 松下簾さん  
R5.10.27(金)「ふるさとデー」打合せ コミスク委員・生徒リーダー  
R5.10.28(土)「ふるさとデー」オープンスクール実施

# 全体MAP



2年生 2階

避難所運営ゲーム  
「チャレンジ」  
明石高専防災団  
D-pro135°

1階

3年生  
スモーク  
体験

加古川東消防署  
相美分署

特別教室

(芝生)

普通教室

(芝生)

2階  
3階

3年生  
暗やみ体験

コミスク委員

1年生

ダンボールトイレ  
防災基本講座

兵庫県防災士会  
東播エリア

本館

玄関

体育館

受付

3年生  
ダンボールベッド  
毛布タンカ  
コミスク委員

3年生  
放水体験

相美町消防団

福美中学校学校運営協議会(コミュニティ・スクール)

〒675-1113 兵庫県加古郡福美町西 2075-1

☎079-422-4400 fax079-422-4402

事務局: inami-jy@inami.ed.jp

福美町立福美中学校内

Since2020



## 【参加された方の感想】

～コミスク会長～

ふるさとデーの防災訓練に参加し災害が発生した時に自分の命を守る行動や避難所での体験、非常食の準備、避難経路の確認など、さまざまな内容を学べる機会でした。講師の方や地域の消防団から基本的な防災の知識を学び、落ち着いて行動することの大切さや、万が一の状況に備えて、自宅に防災グッズや非常食を常備することの重要性を再認識しました。災害は予測不可能ですが適切な知識や準備をしておくことで、被害を最小限に食い止めることができる、地域の結束力や連携の大切さ、自己防災能力を高めることの必要性、などこれからも家族や周りの人々の安全も考えて防災に積極的に取り組んでいきたいと思いました。

～コミスク委員～

生徒主体で行われた防災デーでした。発表の場では堂々と立派に発表している生徒、ちょっと自信が無さそうに、でも最後まで頑張って発表していた生徒がいたと思います。特に自信が無さそうな生徒が最後まで、やり通した事で自信になり、達成感も味わい成長する機会になったのではないかと思います。各部所でもリーダーシップを発揮し、テキパキと指示、伝達していた様に思います。防災という行事を通して多くの生徒達が防災の大切さを学ぶと共に人間としても大きく成長する機会になったのではないかと思います。生徒が核となり、発信することで、周囲の大人の意識が変わりますね。

～コミスク委員～

ふるさとデーの企画・運営お疲れ様でした。私は保護者目線でもこのふるさとデーに参加させていただきましたが、年々ブラッシュアップされていて、内容は充実しており、とても貴重な時間を過ごすことができました。ありがとうございます。冒頭、群青の合唱では涙が出るくらい感動しました。生徒が主体的に動き、行動しプレゼンする姿がとても素晴らしく、これからの人生において大変貴重な経験ができていることにこの取組の成功を感じました。防災意識の高まりは、生徒から各々の家族、地域にも伝搬し、いざという時に動ける形になっていくと確信しています。コミスクのこれらの活動が中学校から各小学校に繋がり、地域に繋がり、皆様の生活の中に自然と浸透していく。その結果、災害に強い稲美町がつくられていくというモデルケースのようになれば良いと考えています。ありがとうございました。

～コミスク委員～

学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組むコミュニティスクールの取組は各地で行われていますが、まだまだ手探りの部分も多いように思います。こうした中、稲美中学校の取組は参加する大人も子どもも笑顔で真剣に取り組めているところが魅力だと感じています。大人が楽しくないと子どもも楽しくない。楽しくないことは長続きしない。明石高専防災団のキャッチコピーである「防災って実は楽しい」にも通じるものを感じています。明石高専の学生にとっても貴重な学びと経験の場になっています。今後ともよろしく願いいたします。

～コミスク委員～

稲美中学校における防災の取組は、年々広がりや深みを増してきたと思います。学校内での教科の壁を超えた取組、生徒から家庭への浸透をめざした課題提示、小学校や地域への働きかけ、、、当日は、リーダーの生徒が、小学生達にも声かけしている姿を見て頼もしいと感じました。いろいろな方が快く協力してくださったのも稲美中学校の底力かな、と。思いを言葉にすると、実現していけるのですね。

～コミスク委員～

年々、充実してきたように感じるの、生徒の意識や取組が向上したからでしょうね。ちょっとだけ体操は楽しんで体ほぐしができるので、とても良い方法だと思いました。食の授業の取組も自分の家のストック状況が把握でき、量が少ない家庭では、保護者の方に生徒が意見をしたのではないのでしょうか？

ありがとうございました。

～コミスク委員～

消防団の主導による放水訓練を担当させていただいております。本物の消防士とはまた違いますが、地域の消防団の活動を少しは理解してもらえたかと思います。またこの防災デーで学んだ事が、いざと言う時に生徒達が率先して動ける勇氣と行動力を発揮できるきっかけになればと願います。防災デーの土台はある程度できてきたとは思いますが、今後これに慢心せずもっと上をめざしていきたいですね。

## 【教師のふり返り】

- ・ 全校合唱は生徒の歌声・取組の姿から人権学習の成果があらわれているように思いました。見ている多くの人の心を打ったと思います。
- ・ 「群青」の全校合唱がとても良かった。これからも縦割りや学年を超えた活動を増やし伝統として受け継いでいきたい。
- ・ 生徒会だけではなく、クラスリーダー、下級生も活躍の場がありよかった。段階的に経験させることで生徒の心を耕していけると感じた。

- ・ 生徒発信の形の防災教育は、これまでの丁寧な指導が良い発表につながっていた。普段あまり前に出ない生徒が活躍していたのも嬉しかった。自信につなげてもらいたい。
- ・ 1日防災のことを考えるのがいいと思った。授業と抱き合わせではなく、特別な日で良かった。自助・公助・共助の精神の涵養につながっている取組が各所で見られて非常に有意義であった。
- ・ 土曜日開催にする、部活動の大会、外部のクラブ活動等で参加できない生徒が複数名いるのが残念です。しかし、土日開催でないと保護者や地域の方の参加も難しくなるし、難しいところです。検討事項かと思います。
- ・ ふるさとデーに向けての取組の全てが大きな人権学習となっている。防災について1日かけて考えることで様々な観点から自分たち、ふるさとを見つめる機会となっている。そんな機会なかなかなく、義務教育の場でこのような体験学習があるのは生徒にとって有意義なものであると感じる。

## 【生徒感想】

### 3年生

ふるさとデーのオープニングセレモニーとして稲中初めて全校生で群言を歌い、とても迫力がありました。体育祭・音コン・文化祭に続き、素晴らしい経験ができて、とても良かったです。ふるさとデー第2部ではクラスリーダーとして動き、新しい発見もできました。私は前々から何かを準備して、みんなに楽しんでもらったりすることがあまりなかったけれど、今回そうゆう機会をもらって、とても良かったです。いっしょに放課後残って頑張ったクラスリーダー、その他発表をした人たちありがとうございます。小学生と触れ合う機会もあり、将来のことを考える良い機会にもなりました。とても良い時間になったのでよかったです。

今日は、初めての体験が多くできました。又吉さんのお話の時に、ボランティアとして参加したけれど、おじいさんの役をしてみても、本当に1人ぼっちのおじいさんは避難所でさみしくしているんだろうなと思いました。体験学習で最も印象に残っているのは、暗やみ体験です。いつも見えるものが見えなくなると、こんなにも怖いのかと驚きました。実際に災害後の明かりのない夜はあれくらい暗いかなと思いました。今日の学習で日々の備えをしっかりとしようと思います。

今日のふるさとデーの段ボールベット・放水訓練などすべてはじめてのものばかりでとても貴重な体験ができました。そして私は学級リーダーとしてクラスを引っ張っていかないといけない存在でリハーサルなど色々不安がありましたが、みんながしっかり自分の指示を聞いてくれたおかげで成功することができ、うれしかったです。災害は止めたくても止められないので、私たち1人ひとりで防災していき、少しでも明るく楽しい生活を送りたいと思います。

今日は、色々な場所で災害について学ぶことができました。又吉さんの講演会ではボランティア活動についての話をしてもらい私たちの知らない所でたくさんの方が災害のあった場所で手助けをしていると知れました。そして、色々な体験をさせてもらうことで、今まではしたことがなかったけど、災害の時には役立つこと知れたので、そういう場面ですっきり動けるようにしたいと思います。防災学習でたくさんの方のことを学びました。



### 2年生

「避難者はお客様ではない」というのに私はハッとしました。学校の職員内で役割が決まっているという話を以前、先生から教えてもらいました。しかし、生徒はそれを知らずいざ、災害が起きてから何かしようと思っても決められた組織を崩してしまうのではないかと思います。だから生徒の中でも災害時の組織をつくり、避難所でのルールを共有するべきだと思いました。来年、新生徒会では避難所として防災に強い学校をめざしたいと思いました。私は今日、稲美中学校に対する誇りがすごく根づいたと思います。今日を境に防災・避難所についてよく考えていきたいです。



今日は防災について深く理解できました。僕は、もし災害が起きた時に、パニックにならず、柔軟に対応したいと思いました。また、今回のふるさとデーで避難所運営の難しさや避難所には様々な人がいるという事が分かりました。シュミレーションゲームは実際の状況が考えられたので、とてもタメになったと思います。僕はふるさとデーを通して、家族の大切さに気付きました。いつも家族は身近な存在だけど、災害時に離れ離れになったら不安だし、心が寂しくなりました。常日頃から家族に感謝を伝えたいと思いました。また、災害時にどこに避難するか、食料は誰が持ってくるかを話し合いたいと思いました。



僕はふるさとデーを終えて、防災の重要性と避難所の運営の大切さが分かりました。防災の重要性は、いつ、どこで、どのような災害がおこりえるか分からないので、おこりえることに備えて防災をしておくのは、とても重要なことだと感じたからです。避難所の運営は、とにかく想像力が大切で、お題1の名簿を作ろうということですら難しいと思うし、起こりえる問題を想像してルールを作ることがすごく大切なことだと思いました。チャレンジがすごく面白かったし、防災について考えるいい日になったと思いました。

去年もあったので私たち2年生にとっては2回目だったけど、又学べる事も違ってとても良い1日になりました。そして、初の全校合唱もして練習時間は少なかったけど、たくさんの方にほめていただいてとても気持ちが良かったです。又吉さんのボランティアについても自分ができることは何かを考えることができました。そして、「チャレンジ」では頭をたくさん使い、普段なかなか考えられないことも考えることができ、みんなで楽しく話し合えたことが、良かったです。

#### 1年生

中学校で初めてのふるさとデーをしました。私はこの半日でものすごく防災の事を考えれた日だったなと思いました。はじめにした「群青」の全校合唱はあまり練習時間はとれなかったけど、「大人数だからこそ伝えられることがある」という意識をもって歌いました。1人1人パートが違って重なり合えたから聞き手に感動をあたえられたと思います。2番目にした防災学習は「もしも」の時に對する事を教えて頂きました。私は今のままだと何か災害が起きた時、適切に対応できないなと危機を感じました。そう思ったからこそ家では保存食を用意するなどして自分でできることから頑張っていきたいです。

今日、防災の話聞いて思ったことは、日頃から非難する準備等用意することが大切と分かりました。災害はいつ起こるか分からないので、いつきてもいいように準備しておきたいです。これからはないといけないことは、非常食の点検です。いざ避難した時も賞味期限が切れていたら意味がないので、点検をして、そういうのをなくしたいです。あと、基本的なケガの処置などもたくさん知っておきたいです。

私は今日で防災についてくわしく知れたと思います。段ボールのトイレをつくった時、段ボールでも作り方が工夫されていました。トイレだけでなく、椅子とか、ペットボトルでベッドが作れることも教えてもらいました。あとは、けが人の運び方とか、色んな種類があって、時と場合に運び方を変えたらいい事も分かりました。そして、避難所が稲美町にたくさんあるから、どこに集まるか家族でもう1度話し合いたいと思いました。群青ではみんなできれいな歌声を届けられて、感動をあたえられて良かったです。

今日のふるさとデーで、もし地震が起こったら、どうするとか、たくさんのことを考えながら話を聞くことができました。今日のことで、家に帰ったら、家族でもし急に地震が起こったらどこに集合したらいいのかとか、いろいろな事を話し合おうと思いました。それと、いろいろな非常物を準備しようと思いました。今日の『ちょっとだけ体操』も稲美町バージョンもおもしろくて楽しかったです。また、踊ってみます！（笑）トイレの作り方とか、人の助け方とか、たくさんを今日1日で知りました。来年のふるさとデーも楽しみです。

